

# 中小企業景気動向調査レポート

(令和4年4月～6月実績、令和4年7月～9月予想)

※調査期間 令和4年6月1日～7日

令和4年7月発行  
西尾信用金庫  
地域振興部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
367	260	64	197	86	56	1,030

<全体の景況>

## 当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R4/3	-18.4	-12.6	-12.7	-2.9	-14.0	-1.9	-12.4
R4/6	-9.0	-11.2	-20.3	-8.2	-12.8	3.6	-9.5
R4/9予想	-5.5	-10.4	-14.1	-8.8	-14.1	-1.8	-7.9

## 当期売上額判断D.I.

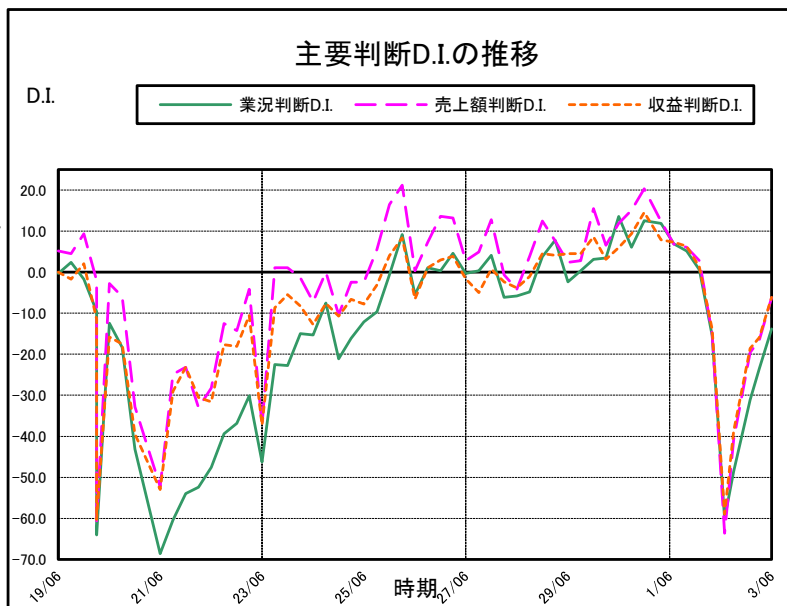
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R4/3	-8.6	-6.3	-4.8	0.0	-10.5	-1.9	-5.6
R4/6	-3.0	-2.7	-7.8	-6.9	7.0	5.4	-3.5
R4/9予想	-1.1	1.5	-1.6	-1.7	2.4	-5.4	-0.8

## 当期収益判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R4/3	-15.1	-6.7	-12.7	-3.5	-16.3	-3.7	-9.6
R4/6	-15.3	-4.2	-17.2	-16.2	-7.0	-5.4	-11.8
R4/9予想	-8.7	-0.4	-14.1	-11.0	-10.5	-5.4	-7.0

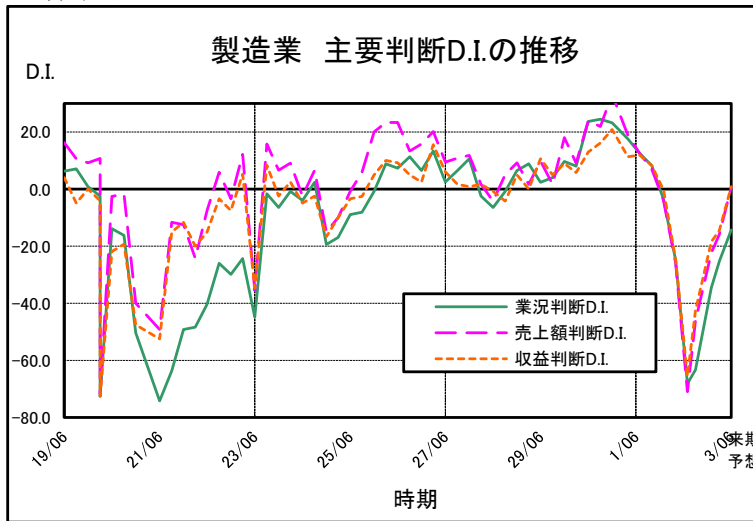
・令和4年6月期の当期業況判断D.I.は▲9.5(前期比+2.9)、当期売上額判断D.I.は▲3.5(同+2.1)、当期収益判断D.I.▲11.8(同-2.2)となった。

・来期については、業況判断D.I.は▲7.9(当期比+1.6)、売上額判断D.I.は▲0.8(同+2.7)、収益判断D.I.は▲7.0(同+4.8)といずれも改善する見通し。



\*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

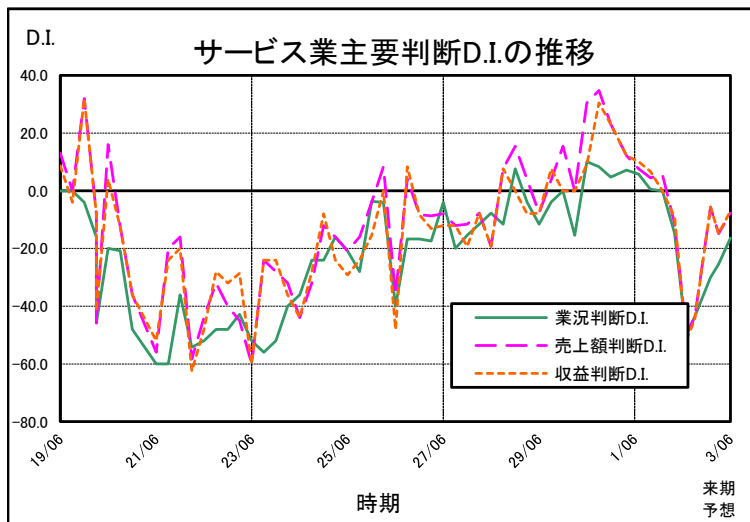
< 業種別 >



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R4/3	-18.4	-8.6	-15.1
R4/6	-9.0	-3.0	-15.3
R4/9予想	-5.5	-1.1	-8.7

< 製造業 >

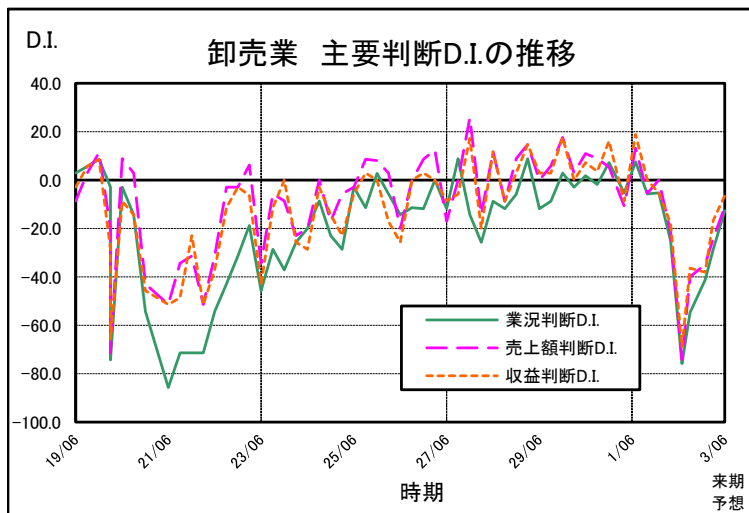
- ・当期業況判断D.I.は▲9.0(前期比+9.4)、当期売上額判断D.I.は▲3.0(同+5.6)、当期収益判断D.I.は▲15.3(同-0.2)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I. は▲5.5(当期比+3.5)、売上額判断D.I. は▲1.1(同+1.9)、収益判断D.I. は▲8.7(同+6.6)といずれも改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策として“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く59.4%、“販路を広げる”を挙げる企業が52.9%、そして“情報力を強化する”を挙げる企業が15.3%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R4/3	-12.6	-6.3	-6.7
R4/6	-11.2	-2.7	-4.2
R4/9予想	-10.4	1.5	-0.4

< サービス業 >

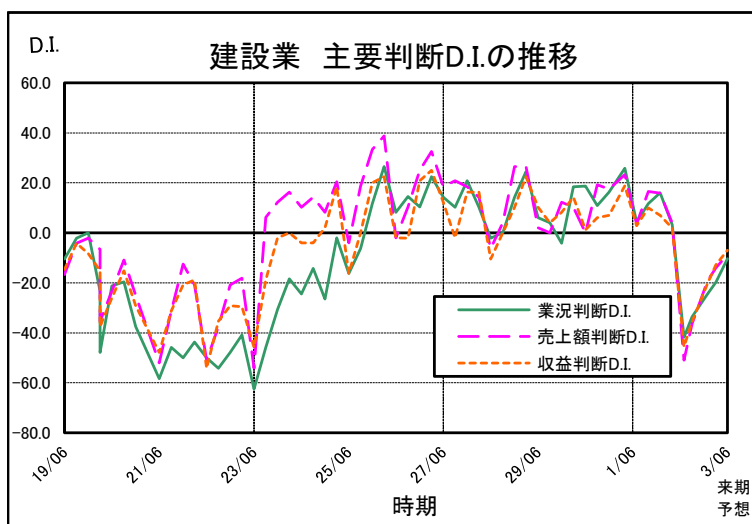
- ・当期業況判断D.I.は▲11.2(前期比+1.4)、当期売上額判断D.I.は▲2.7(同+3.6)、当期収益判断D.I.は▲4.2(同+2.5)といずれも改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲10.4(当期比+0.8)、売上額判断D.I.は1.5(同+4.2)、収益判断D.I.は▲0.4(同+3.8)といずれも改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く44.2%、次いで“販路を広げる”を挙げる企業が42.3%、そして“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が20.8%であった。



卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R4/3	-12.7	-4.8	-12.7
R4/6	-20.3	-7.8	-17.2
R4/9予想	-14.1	-1.6	-14.1

<卸売業>

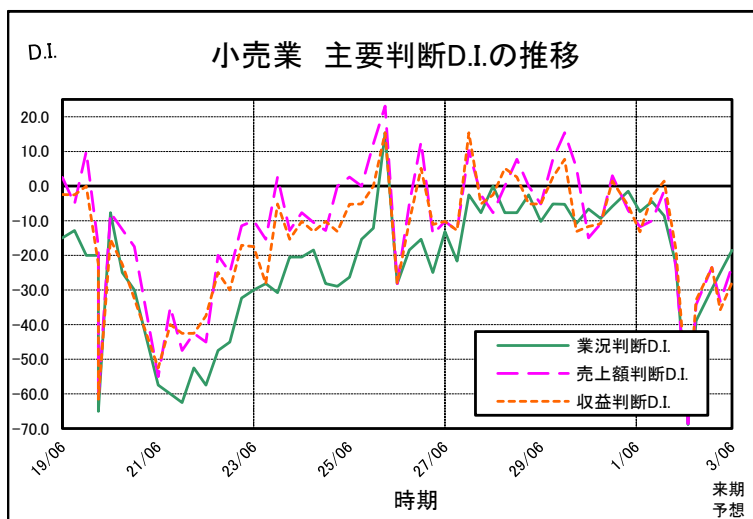
- ・当期業況判断D.I.は▲20.3(前期比-7.6)、当期売上額判断D.I.は▲7.8(同-3.0)、当期収益判断D.I.は▲17.2(同-4.5)といずれも悪化した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲14.1(当期比+6.2)、売上額判断D.I.は▲1.6(同+6.2)、収益判断D.I.は▲14.1(同+3.1)といずれも改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を拡げる”を挙げる企業が最も多く50.0%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が40.6%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が15.6%であった。



建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R4/3	-2.9	0.0	-3.5
R4/6	-8.2	-6.9	-16.2
R4/9予想	-8.8	-1.7	-11.0

<建設業>

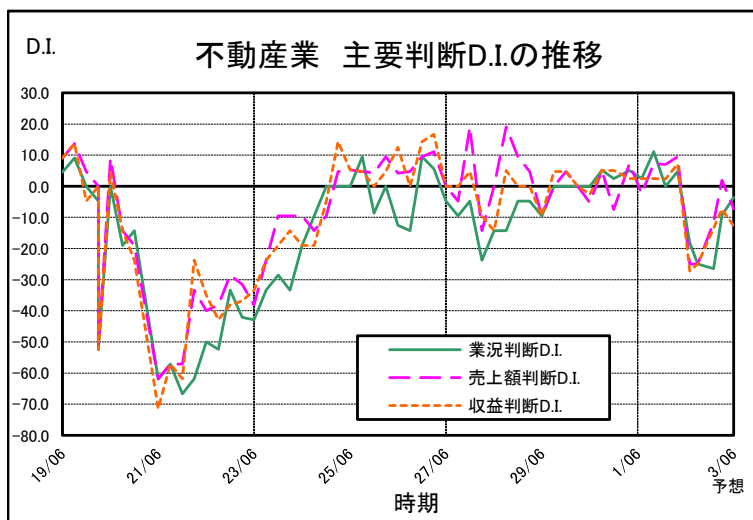
- ・当期業況判断D.I.は▲8.2(前期比-5.3)、当期売上額判断D.I.は▲6.9(同-6.9)、当期収益判断D.I.は▲16.2(同-12.7)といずれも悪化した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲8.8(当期比-0.6)、売上額判断D.I.は▲1.7(同+5.2)、収益判断D.I.は▲11.0(同+5.2)となった。
- ・当面の重点経営施策として“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く43.7%、次いで“販路を拡げる”を挙げる企業が43.1%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が16.8%であった。



小売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R4/3	-14.0	-10.5	-16.3
R4/6	-12.8	7.0	-7.0
R4/9予想	-14.1	2.4	-10.5

<小売業>

- ・当期業況判断D.I.は▲12.8(前期比+1.2)、当期売上額判断D.I.は7.0(同+17.5)、当期収益判断D.I.は▲7.0(同+9.3)といずれも改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲14.1(当期比-1.3)、売上額判断D.I.は2.4(同-4.6)、収益判断D.I.は▲10.5(同-3.5)といずれも悪化する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く60.5%、次いで“品揃えを改善する”を挙げる企業が25.6%、そして“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が24.4%であった。

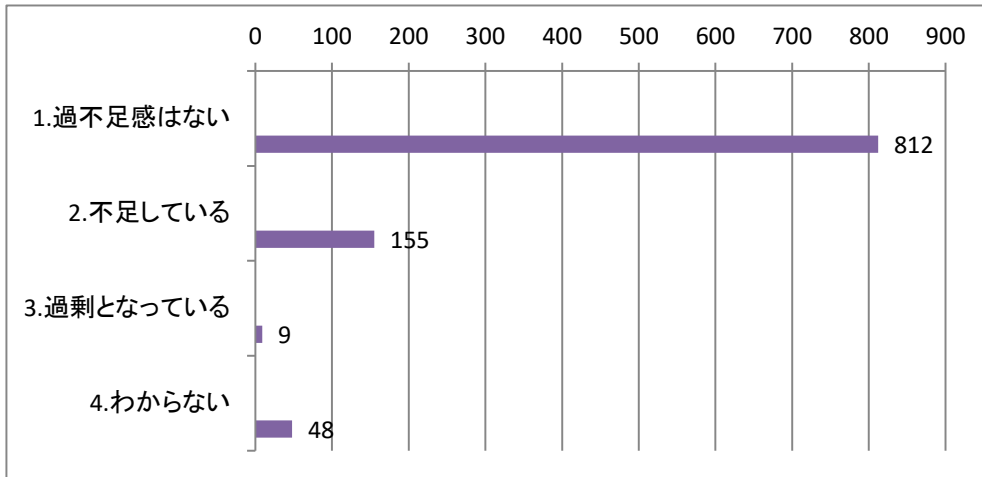


不動産業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R4/3	-1.9	-1.9	-3.7
R4/6	3.6	5.4	-5.4
R4/9予想	-1.8	-5.4	-5.4

<不動産業>

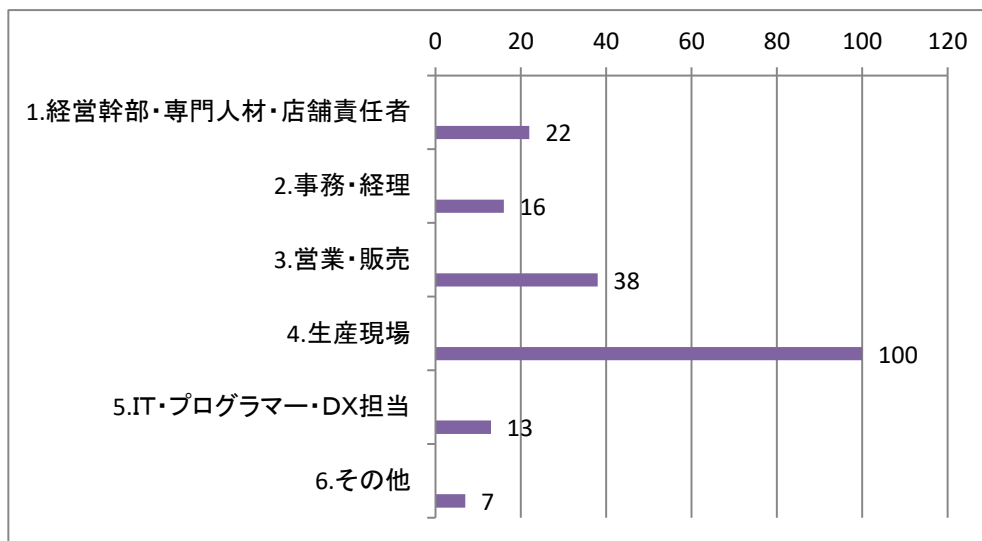
- ・当期業況判断D.I.は3.6(前期比+5.5)、当期売上額判断D.I.は5.4(同+7.3)、当期収益判断D.I.は▲5.4(同-1.7)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲1.8(当期比-5.4)、売上額判断D.I.は▲5.4(同-10.8)、収益判断D.I.は▲5.4(同±0)となった。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く35.7%、次いで“情報力を強化する”を挙げる企業が30.4%、そして“経費を節減する”を挙げる企業が25.0%であった。

問1. 人材の過不足状況について、あてはまるものをお答えください



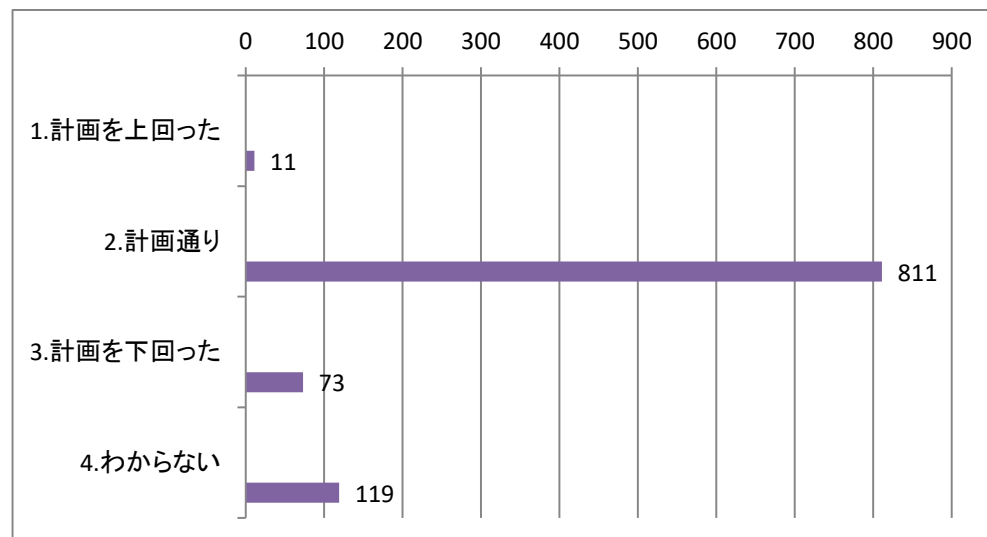
☛「過不足感はない」が最も多く、「不足している」、「わからない」と続いた。

問2. 問1で「不足している（2）」と回答された方にお聞きします。不足している職種をお答えください。（複数回答可）



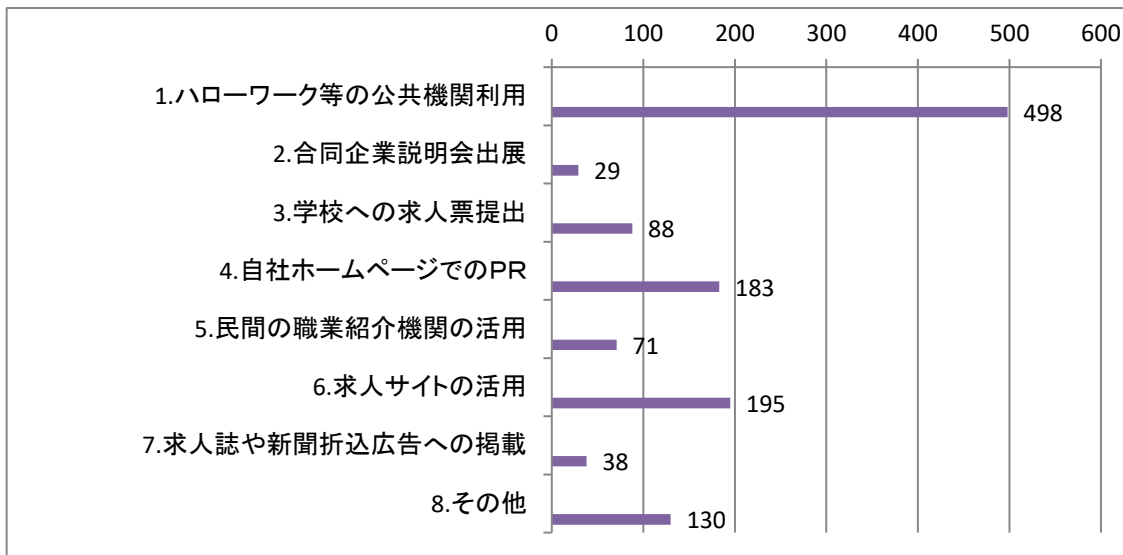
☛「生産現場」が最も多く、「営業・販売」、「経営幹部・専門人材・店舗責任者」と続いた。

問3. 今年4月における採用人数（実績）の状況をお答えください。



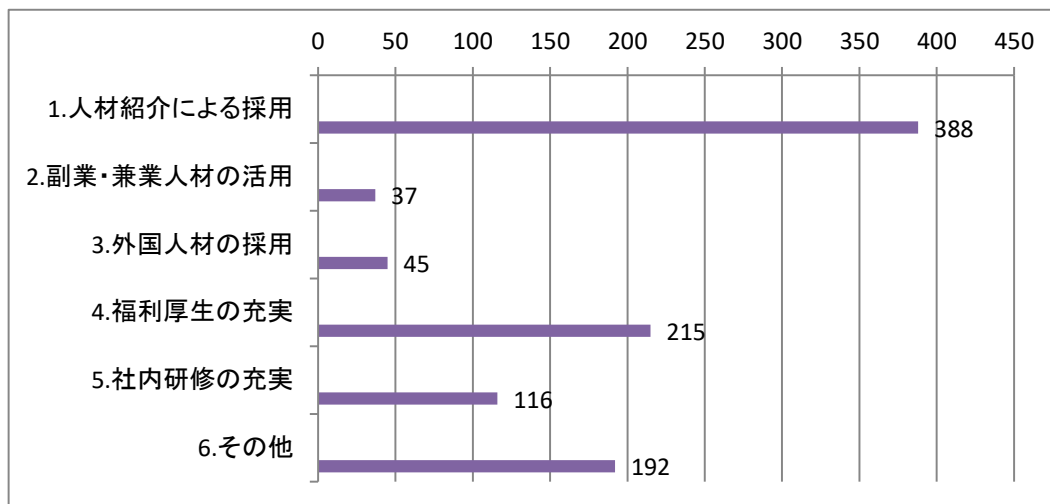
☛「計画通り」が最も多く、「わからない」、「計画を下回った」と続いた。

問4. 現在、貴社ではどのような方法で人材採用を行っていますか。新卒、中途採用含め、あてはまるものをお答えください。（複数回答可）



☛「ハローワーク等の公共機関利用」が最も多く、「求人サイトの活用」、「自社ホームページでのPR」と続いた。

問5. 今後、「人材確保」のために必要なサポートはありますか？（複数回答可）



☛「人材紹介による採用」が最も多く、「福利厚生の充実」、「その他」と続いた。